

令和5年1月16日（月）9：00～13：35

開始時間	演題番号	研究分担者	演題	演者
9:00			研究代表者 挨拶（プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究班 山田正仁）	
9:05			研究代表者 挨拶（プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班 高尾昌樹）	
9:10			厚生労働省健康局難病対策課 / 国立保健医療科学院（FA事務局） ご挨拶	
			1.プリオン病のサーベイランスと感染予防 Part1 【プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究班】	座長：山田正仁
9:15	1-1	阿江竜介	全国サーベイランスに基づくわが国のプリオン病の疫学像（1999年～2022年）	小佐見光樹
9:25	1-2	金谷泰宏	プリオン病サーベイランスデータの管理・運用の研究	金谷泰宏
9:35	1-3	塚本 忠	プリオン病サーベイランスの諸問題：調査未終了症例と剖検率減少の対策	塚本 忠
9:45	1-4	矢部一郎	令和4年度北海道地区のサーベイランス状況について	岩田育子
			2.プリオン病のサーベイランスと感染予防 Part2 【プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究班】	座長：金谷泰宏
9:55	1-5	青木正志	令和4年度 東北地方におけるプリオン病のサーベイランス状況	青木正志
10:05	1-6	田中章景	MRI拡散強調画像で両側視床高信号を呈した孤発性CJD MM2C型症例	岸田日帯
10:15	1-7	小野寺理	新潟・群馬・長野における2022年のプリオン病サーベイランス状況	春日健作
10:25	1-8	道勇 学	最近の愛知、岐阜、三重の3県におけるプリオン病サーベイランス結果	福岡敬晃
			3.プリオン病のサーベイランスと感染予防 Part3 【プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究班】	座長：山下 徹
10:35	1-9	望月秀樹	近畿ブロックにおけるプリオン病サーベイランス状況	池中建介
10:45	1-10	山下 徹	中国四国地区におけるプリオン病サーベイランス	武本麻美
10:55	1-11	松下拓也	九州・山口・沖縄地区におけるプリオン病の疫学調査報告	松下拓也
11:05	1-12	濱口 毅	プリオン蛋白遺伝子V203I variantを有するCreutzfeldt-Jakob病の1例	内田信彰
			4.プリオン病のサーベイランスと感染予防 Part4 【プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究班】	座長：小野寺理
11:15	1-13	村井弘之	GSS-P102Lの臨床疫学的研究（続報）	村井弘之
11:25	1-14	三條伸夫	プリオン蛋白遺伝子コドン105変異による Gerstmann-Sträussler-Scheinker 病症例の脳血流SPECTの長期変化の解析	河合ほなみ
11:35	1-15	原田雅史	MRI所見とプリオン病病型の関連について	藤田浩司
11:45	1-16	佐藤克也	プリオン病サーベイランスにおける、ヒトプリオン病の患者の髄液中のバイオマーカーの解析	佐藤克也
11:55～12:50			<ul style="list-style-type: none"> ・プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班（プリオン病分科会） 研究者会議 ・プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究班 研究者会議 	
12:50～13:35			昼食	

令和5年1月16日（月）13：35～16：55

開始時間	演題番号	研究分担者	演題	演者
5.プリオン病のサーベイランスと感染予防 Part5 【プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究班】 座長：高尾昌樹				
13:35	1-17	黒岩義之	プリオン病診断における「周期性同期性放電（PSD）」の役割：サーベイランス委員会で得られた統計解析データから学ぶ（約6000症例の検討）	黒岩義之
13:45	1-18	村山繁雄	ドイツでCOVID-19罹患後発症した、孤発性CJD 58歳男性剖検例	原愛徒
13:55	1-19	高尾昌樹	プリオン病病理解剖の推進	高尾昌樹
14:05	1-20	北本哲之	サーベイランスの遺伝子解析	北本哲之
6.プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究班 Part6 【プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究班】 座長：田村智英子				
14:15	1-21	田村智英子	遺伝性プリオン病の発症前診断に関する考察と着床前診断の状況～当院の経験から	田村智英子
14:25	1-22	齊藤延人	プリオン病の二次感染リスク者のフォローアップに関する研究	高柳俊作
14:35	1-23	太組一朗	神経内視鏡（軟性鏡）滅菌のプリオン病感染予防ガイドライン対応状況（2022年現在）	太組一朗
14:45	1-24	山田正仁	早期発症・非遺伝性脳アミロイドアンギオパチーの発症機序	山田正仁
7.プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班 Part1 座長：高尾 昌樹				
14:55	1-25	高尾昌樹	研究班の報告 最終年度の経過	高尾昌樹
15:05	1-26	山田正仁	硬膜移植後CJDプラーク型および非プラーク型の発症関連因子の検討	山田正仁
15:15	1-27	水澤英洋	プリオン病のサーベイランスに関する調査研究：自然歴調査と診断基準のアップデート	水澤英洋
15:25～15:45	休憩			
8.プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班 Part2 座長：中垣 岳大				
15:45	1-28	中垣岳大	解剖検体のプリオンスクリーニング	中垣岳大
15:55	1-29	佐々木真理	早期プリオン病画像解析ソフトウェアの開発と検証	山下典生
16:05	1-30	岩崎 靖	V180I遺伝性クロイツフェルト・ヤコブ病の生存期間に影響する因子の検討	岩崎 靖
9.プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班 Part3 座長：坪井 義夫				
16:15	1-31	坪井義夫	当科において過去10年間にプリオン病関連遺伝子検査もしくは髄液バイオマーカー検査を依頼した症例についての後方視的解析	藤岡伸助
16:25	1-32	北本哲之	新しいM2C(sv)プリオンは、想像以上に多くの症例で見られる	北本哲之
10.プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班 Part4 座長：大平 雅之				
16:35	1-33	佐藤克也	プリオン病患者に関する次世代QUIC法の開発と新規診断法の開発	佐藤克也
16:45	1-34	大平雅之	プリオン病の社会的・法的问题の検討、データベース構築における法的问题	大平雅之

令和5年1月17日（火）9：00～18：00

開始時間	演題番号	研究分担者	演題	演者
11.亜急性硬化性全脳炎（SSPE）Part1 【プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班】 座長：細矢 光亮				
9:00	2-1	細矢光亮	亜急性硬化性全脳炎診断のためのEIA法による髄液麻疹特異抗体価と髄液血清比の検討	久米庸平
9:10	2-2	細矢光亮	SSPE患者データベース構築のための全国調査実施状況	岡部永生
9:20	2-3	長谷川俊史	CSQrelを用いた麻疹抗体価測定法の検討	松重武志
12.亜急性硬化性全脳炎（SSPE）Part2 【プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班】 座長：長谷川俊史				
9:30	2-4	酒井康成	亜急性硬化性全脳炎の患者由来・人工多能性幹細胞の樹立	藤井史彦
9:40	2-5	野村恵子	亜急性硬化性全脳炎の患者レジストリに関する研究	野村恵子
9:50	2-6	高橋琢理	亜急性硬化性全脳炎（SSPE）の発生状況（続報）	高橋琢理
13.進行性多巣性白質脳症（PML）Part1 【プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班】 座長：三浦 義治				
10:00	2-7	中道一生	日本における進行性多巣性白質脳症の実験室サーベイランスおよびその臨床的・疫学的特徴	中道一生
10:10	2-8	三浦義治	本邦発症PML患者に対するサーベイランス調査と解析（令和4年度）とPMLMRI画像スコア化およびPML-IRIS診断基準の検討	三浦義治 原田雅史
14.進行性多巣性白質脳症（PML）Part2 【プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班】 座長：中道 一生				
10:25	2-9	雪竹基弘	進行性多巣性白質脳症（PML）診療，1年間の進歩	雪竹基弘
10:35	2-10	阿江竜介	本邦におけるPMLの疫学的特徴：サーベイランスデータ解析（2022年度）	阿江竜介
15.進行性多巣性白質脳症（PML）Part3 【プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班】 座長：阿江 竜介				
10:45	2-11	鈴木忠樹	国立感染症研究所感染病理部におけるPMLの病理組織検体の解析	高橋健太
10:55	2-12	三條伸夫	PML回復患者の認知機能変化と画像変化の比較	三條伸夫
11:05	2-13	高橋和也	本邦発症フィンゴリモード関連PML8例の臨床的特徴の検討	高橋和也
16.進行性多巣性白質脳症（PML）Part4 【プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班】 座長：中原 仁				
11:15	2-14	中原 仁	PMLリスクマネジメント法に関するナタリズマブ処方医意識調査	中原 仁
11:25	2-15	浜口 毅	多発性骨髄腫の治療中に進行性多巣性白質脳症を呈した症例の検討	浜口 毅
11:35～12:15	プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班（SSPE分科会） 研究者会議			
12:15～13:00	昼食			
13:00～14:10	PML分科会			
14:10～18:00	PMLサーベイランス委員会			

発表時間：10分（発表7分・質疑応答3分）